

平成21年3月9日に新しい高等学校学習指導要領が公示されました。以下、外国語(英語)にかかわる部分について、改訂の骨子と新学習指導要領を紹介します。

小学校・中学校・高等学校 学習指導要領改訂の要点

小学校	「外国語活動」の新設（教科とは異なる。数値評価なし。） ・音声面（聞く・話す）中心 ・小学校5・6年生で週1コマ（年間35単位時間） ・学級担任中心。外部人材とのチームティーチングもあり。	23年度から全面实施 (21年度から移行期間)
中学校	・授業時数増（週3時間→週4時間） ・「聞く」「話す」重視から「読む」「書く」を加えた4技能重視 ・語数増（900語→1,200語） ・文法指導の改善（歯止め規定が外れる）	24年度から全面实施 (21年度から移行期間)
高等学校	・科目再編と必修修の見直し（下表参照） ・4技能重視 ・語数増（1,300語→1,800語） ・授業は英語で行うことを基本とすることを明記	25年度から学年進行で実施

科目構成

改訂後			現 行		
科 目	標準 単位数	必修修 科目	科 目	標準 単位数	必修修 科目
コミュニケーション英語基礎	2	○ (2単位まで減可)	英語Ⅰ	3	○
コミュニケーション英語Ⅰ	3		英語Ⅱ	4	
コミュニケーション英語Ⅱ	4		オーラル・コミュニケーションⅠ	2	
コミュニケーション英語Ⅲ	4		オーラル・コミュニケーションⅡ	4	
英語表現Ⅰ	2		リーディング	4	
英語表現Ⅱ	4		ライティング	4	
英語会話	2				

各科目のポイント

コミュニケーション英語基礎	・中学校における指導内容との円滑な接続を目的とした科目として創設。生徒の実態に応じ、中学校における指導内容等を整理し定着を図る。
コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ	・「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の総合的かつ統合的な育成を図る科目として創設。例えば、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする活動を適切に取り入れるなど、4技能を有機的に関連付けつつ総合的に指導することを明確化。 ・コミュニケーション英語Ⅱ及びⅢにおいて指導する新語の数をそれぞれ700語とし、現行の英語Ⅱやリーディングと比べて充実。 (現行、英語Ⅱ及びリーディングを履修した場合、実質的に、それぞれ500語、400語の新語を指導)
英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	・「話す」「書く」技能を中心に、論理的に表現する能力の向上を図る科目として創設。例えば、オーラル・コミュニケーションⅠ及びⅡにおける指導内容とされていた「発表（プレゼンテーション）」「討論（ディベート）」等の言語活動に係る能力を育成。
英語会話	・身近な話題について会話する能力を養う科目として、従来のオーラル・コミュニケーションを改編。